

目黒区美術館
Meguro Museum of Art, Tokyo

4月20日(土)～6月9日(日) 青山悟 刺繍少年フォーエバー

「永遠なんてあるのでしょうか」。この言葉は、目黒区出身の現代美術作家、青山悟が、時代とともに社会から姿を消そうとしている、さまざまな消えゆくものへの問いかけです。

本展では、美術の技法としては特異な刺しゅうで制作した、青山の区内出身校を描写した初期の作品から新作のほか、五本木小学校の子どもたちと制作した作品も展示します。



青山悟「東京の朝」2005年
ポリエステルに刺繍(コットン、
ポリエステル糸)、中尾浩治蔵
©AOYAMA Satoru, Courtesy of Mizuma
Art Gallery

時10:00～18:00(入館は17:30まで)

休館日 月曜日。ただし、4月29日・5月6日は開館し、4月30日・5月7日休館

¥一般900(700)円、高校生・大学生・65歳以上700(550)円、中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金。障害のあるかたと付添者1人は無料(区民割引) 区内在住・在勤・在学が分かるものを提示すると、団体料金で入場可(他の割引と併用不可)

場目黒区美術館(目黒2-4-36 区民センター内、
☎3714-1201、☎3715-9328)



お知らせ

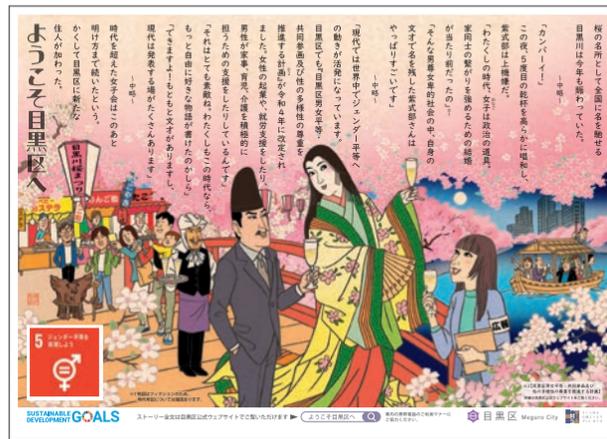
東急グループSDGsトレインに 区のポスター第4弾が登場!



区は、SDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発のため、東急グループが運行する「SDGsトレイン～美しい時代へ号」に、SDGsポスターを掲示しています。ポスターを掲示したSDGsトレインは、東横線・田園都市線・目黒線を運行予定です。

「ようこそ目黒区へ～もしも歴史上の偉人が現代にやってきたら」というテーマのもと、区のSDGsの取り組みなどを物語仕立てで紹介しています。SDGsトレイン乗車の際は、ぜひ区のポスターを探してみてください。物語は、区(コード②)でご覧になれます。

掲示期間(予定) 4月15日(月)～7月14日(日)



◀SDGsポスター
物語その四
紫式部編

企画経営課(☎5722-9106、☎5722-6134)

催し物

総合水防訓練 めぐろ水防フェスタ



めぐろ水防フェスタは、楽しみながら防災を学べる参加体験型イベントです。希望者は当日会場へお越しください。はしご車乗車体験などの事前申込制のイベントもあります。詳細は区(コード③)をご覧ください。

時5月12日(日)9:30～12:00

場中目黒公園(中目黒2-3-14)

内災害対応車両の展示、VR(仮想現実)による防災体験コーナー(下写真)ほか



防防災課(☎5723-8488、☎5723-8725)

催し物

アユやハゼなど川のいきものたちを調べよう! 川のいきもの発見隊



目黒川に入り、川にいるいきものに触れてみませんか。

時5月25日(土)10:00～12:00

※荒天時は5月26日

場目黒川船入場

(中目黒1-11-18)

師魚類研究者 君塚芳輝氏

対区内在住・在勤・在学者

(小学生以下は保護者同伴)

定60人(抽選)

¥保険料など50円

申区(コード④)、ハガキ・

FAX(いきもの発見隊参加希望と明記の上、住所、電話、参加者全員の氏名〈ふりがな〉・年齢を記入)で、4月26日(必着)までに、みどり土木政策課みどりの係(〒153-8573目黒区役所〈住所不要〉、☎3792-2112)へ



区みどり土木政策課みどりの係
(☎5722-9359、☎3792-2112)

保健衛生

感染症予防計画を策定しました

主な内容

病原体などの検査の実施体制・検査能力の向上

●発生早期から都が構築する検査体制を迅速かつ効率的に活用 ほか

自宅療養者などの療養生活の環境整備

●適切な健康観察に向けた体制構築・ICTの積極的な活用 ほか

保健所体制の整備

●全庁の役割分担・庁内応援体制の検討 ほか

感染症法の改正により、感染症対策の一層の充実を図るため、感染症予防計画を策定しました。



計画(全文)と計画素案に対する意見募集の実施結果は、総合庁舎本館1階区政情報コーナー・感染症対策課、地区サービス事務所(東部を除く)、住区センター、図書館のほか、区(コード⑤)でご覧になれます。

区感染症対策課感染症対策係(☎5722-9896、☎5722-9890)